
風船ガム

えだまめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風船ガム

【Nコード】

N1011U

【作者名】

えだまめ

【あらすじ】

お盆になり嫁と二人実家へ帰った僕の前で広がるのは、頑固なばあちゃんと負けず嫌いなたっくんのちっちゃなちっちゃなケンカだった。

「十円足りないや、おまけして！ね？いいでしょ？」

たつくんは五つばかり買うと決めたお菓子のひとつも諦めることができないと判断するや否やばあちゃんにねだり出した。

「あんたもうすぐ二年生だろ、足し算もできないのかい」

ばあちゃんは頑として買い物カゴ代わりの小さなざるに飛び入り参加してきた十円ガムを見逃す気はないようだ。

盆に入り僕は嫁を連れて一人で暮らしているばあちゃんの実家に帰って来た。

じいちゃんはもう何年も前に死んでしまったが、ばあちゃんが頑固なのはそのもつともつと以前からだ。

「いいじゃないか、一つくらい。まけてやったら？どうせ十円だよ」

もう何分も言い争う二人に見かねて、僕はここの看板犬”コタロウ”と久々の馴れ合いも早々にたつくんの方へと助け舟を出した。

「ちつともよかないよ、うちだって商売だ」

「あー分かった分かった！もういいよ！」

たつくんは五十円玉をレジ代わりのブリキ缶に投げ入れ、お菓子を持って行ってしまった。

ばあちゃんは走り行く小さな背中に向かつて

「足し算もできない馬鹿に売る菓子は無いよ！」と吐き捨てた。

ざるの中にはガムが一つ転がっていた。

その晩ばあちゃんは三人で夕食を食べ終えた後、おもむろにシャッターを降ろした店へと降りた。そして、ひしめき合うお菓子の中から十円ガムを取ってきてクチャクチャと音を立てて噛み始めた。

「ばあちゃんガム食べるの？」

「腹いせだよ」

”してやったり”というような顔ではあちゃんはガムを膨らませて見せた。

「意地の悪いおばあちゃんだこと」

僕はその後懐かしい水色のタイルに思いをはせながらお風呂へ入り、高校生の時まで使っていた布団で眠った。

ばあちゃんはガムの包み紙を前掛けのポケットへ突っ込んだ。

次の日は近所の神社でお祭りがあるというので嫁と遊びに出かけた。

嫁の希望で屋台でラムネとたこ焼きを買い神社の境内に腰をかけた。「いただきます」と軽く合掌してから食べ始めた。

しばらくすると嫁が

「あれ、あの子昨日の」

目線の先には何人かの友達と型抜きをしている半被姿はっぴのたっくんがいた。

ばあちゃんに土産をと、ポップ焼きを買って帰るとばあちゃんは丸めた新聞紙でコタロウと遊んでいた。

「これ、祭りの土産ね」

「お、気が利くねえ」

「そういえば祭りにたっくん来てたよ」

「そうかいそうかい、屋台の人にも”まけてくれ”なんて言ってたんじゃないのかい？」

ひとしきりケラケラ笑った後、ポップ焼きを一つ半分にちぎって片方コタロウにあげてもう片方を自分の口に運んだ。

なんだかとても楽しそうだった。

少し遠くから聞こえる祭囃子まつりはやしを聞きながら嫁と二人ばあちゃんに

向かって、東京はどうで会社はどうでと話をしていると、店先にたつくんが現れた。

「来たね」

「ばあちゃんはそう言つと前掛けをして店へ降りた。」

「何が欲しいつて？」

「ガム！三十個！」

「そうしてばあちゃんの返事も聞かずに三百円を手渡して”してやったり”というような顔で被っていた帽子にガムを入れて帰って行った。」

「たつくんの勝ちだな」僕が言つと

「誰が勝ちだつて？」

「ばあちゃんは前掛けのポケットから昨日の晩のガムの包み紙を出して僕に見せた」

『大当たり！もういつこももらえるよ！』

「あたしの勝ちだよ」

「そう言つて所狭ところせましと並んだ駄菓子の中からガムを一つ手に取り、包みを破いて口へ運んだ。」

「そろそろ子供みこしがここの前を通る時間か。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1011u/>

風船ガム

2011年10月9日07時38分発行